

NVIS校正用標準光源 RS-12DN



RS-12DNは、NISTトレーサブル光源であり、分光放射輝度または輝度の白色光標準として使用できます。フィルター/アパーチャーアセンブリーを挿入することで、ユニットはNVISディスプレイシミュレーション光源に変換されます。この光源は、分光放射計または放射計の校正に使用できる設計レベルの近赤外線出力を持つ、グリーンコックピットディスプレイを近似します。

3回の校正と証明書が付属します。まず、380~1100nmの白色光源校正を実施します。2回目の校正は、公称輝度出力45フートランバートのフィルターを装着した状態で実施します。3回目の校正は、フィルターとアパーチャーを装着した状態で実施します。公称輝度出力は1フートランバート、10-10 AR(Anvis Radiance)です。

高精度校正ソリューション 堅牢・信頼・トレーサビリティ

特長

- 分光放射輝度および輝度の標準規格
- NVIS要件なしのRS-12D白色光標準規格
- 相関色温度: 2856 K $\pm$ 25 K
- 拡散射出径: 3インチ、均一性: $\pm$ 3%
- ANVIS出力: 10-10 AR
- NISTトレーサブル

アプリケーション

- NVIS試験および校正
- 分光放射計、放射計、光度計の校正
- 検出器の感度校正
- 反射率および透過率の測定

優れた技術力と機能的能力に加え、Gamma Scientific は NVLAP による ISO/IEC 17025 認定も受けています (NVLAP ラボ コード 200823-0)

仕様	
データ間隔における校正波長範囲	380~1100 nm @ 5 nm
拡散板の公称放射輝度	$2.5 \times 10^{-8} \text{ W/cm}^2 \cdot \text{nm} \cdot \text{sr}$ @ 380 nm $3.0 \times 10^{-6} \text{ W/cm}^2 \cdot \text{nm} \cdot \text{sr}$ @ 550 nm $9.5 \times 10^{-6} \text{ W/cm}^2 \cdot \text{nm} \cdot \text{sr}$ @ 800 nm $1.2 \times 10^{-5} \text{ W/cm}^2 \cdot \text{nm} \cdot \text{sr}$ @ 1100 nm
拡散板の公称輝度	2398 cd/m^2 $700 \text{ fl (n}^{-1} \cdot \text{cd/ft}^2)$
ANVISフィルター使用時の公称輝度	488 cd/m^2 $140 \text{ fl (n}^{-1} \cdot \text{cd/ft}^2)$
ANVISフィルターと低レベルアパーチャー使用時の公称輝度	6.6 cd/m^2 $1.9 \text{ fl (n}^{-1} \cdot \text{cd/ft}^2)$
ANVISフィルターと低レベルアパーチャー使用時の公称NVIS「A」放射輝度	$450 \times 10^{-10} \text{ NVIS "A" 輝度}$
相関色温度(CCT)	$2856 \pm 25\text{K}$
拡散板の均一性	65 mmを超えると $\pm 3\%$
NIST放射照度出力の不確かさに関する標準規格	$\pm 2.5\%$
サイズ	長さ197 mm x 幅216 mm x 高さ203 mm 2.8 kg
レギュレータタイプ	定電流
出力電流	最大4A
電流精度(長期)	0.5%以下
温度範囲	$15^{\circ}\text{C} \sim 35^{\circ}\text{C}$

お客様のアプリケーションにおいて、校正なしの出力で問題がない場合は、ご注文時に品番RS-12Dをご指定ください。カスタム校正オプションもご利用いただけます。仕様は予告なく変更される場合があります。

